

技術士交流報告



第33回 技術士全国大会（東京） 参加報告

(社)日本技術士会北海道支部／北海道技術士センター 事務局次長
技術士（建設／総合技術監理部門） 森 隆 広

1. はじめに

第33回技術士全国大会は2006年9月5日～8日の4日間の日程で東京都(新宿区)にて開催されました。北海道からは大島支部長はじめ28名が参加してまいりました。以下、大会の内容について報告します。

2. 大会の概要

(1) 大会のテーマ

今回は技術士会の創立55周年記念大会に当たり、記念すべき大会のテーマは「知の創造—技術士の役割」となっています。科学技術創造立国の実現に役立つべく、社会貢献に積極的に参加し、倫理観のある質の高い21世紀の技術士像を目指す大会でした。

(2) 会 場

大会は新宿の東京都庁前にある京王プラザホテルの他、隣接する工学院大学を会場に開催されました。大会参加受付会場となった工学院大学アトリウムには宇宙を題材にした展示コーナーが設けられ、当時10億円もしたという宇宙服が記念撮影用に改良した形で展示されていました。



(3) スケジュール

〈9月5日〉

- ・ゴルフコンペ、囲碁大会、展示コーナー
- ・第3回技術者倫理研究事例発表会
- ・前夜祭「未来都市東京を語る、ウェルカムちよつとパーティ」：東京都都市整備局技監 只腰憲久 技術士による講演とパーティ

〈9月6日〉

- ・展示コーナー、全国大会

〈9月7日〉

- ・ツアー（日帰りコース）：文化都市東京巡り

〈9月7～8日〉

- ・ツアー（1泊コース）：東京再発見と明治浪漫の探訪

3. 大 会

(1) 分科会

大会の中心行事である分科会は844名の登録があり、工学院大学を会場に次の6つの分科会に分けて以下のテーマで話題提供と意見交換がありました。

第1分科会(国際連携)「グローバルエンジニアに向けて — 技術者資格国際化の推進 —」

第2分科会(地球環境)「地球環境保全とパートナーシップ — 人間と地球の調和をめざして —」

第3分科会(安全安心)「生活の安全・安心をささえる新技術 — リスク社会への挑戦 —」

第4分科会(地震防災)「首都直下型地震を迎え撃つ — 技術士の役割 —」

第5分科会(先端技術)「先端技術と知識創造」

第6分科会(青年技術士)「知と志の融合 — 現状の Break Through —」



第5分科会会場風景

私は防災研究会に属していながらテーマに惹かれて第5分科会に参加してきました。基調講演では、知識経営とはナレッジマネジメントに代表されるような情報マネジメントの意味合いを大きく超える概

念であることが話されていました。2007 年問題への対策を考え、知識創造企業をめざすヒントになる内容の講演でした。他に遺伝子組み換え作物に関する話題、ユビキタス・WEB 2.0 に関する話題、ナノテクノロジーに関する話題などを聞くことができ、先端技術の未来に期待したくなりました。余談ですが、出席者の年齢から予想していたとおり、ロングテールや WEB 2.0 のインパクトを理解している人が少なかったように感じたことは、個人的に残念でした。終了後、第 4 分科会を覗くと 160 名ほどの参加者がまだ熱心に聴いていました。

(2) 分科会報告

第 5 分科会終了後、営業活動のため会場を離れたので分科会報告は聞くことができませんでした。

(3) 記念式典



京王プラザホテルの会場には、見た感じでは 600 名前前後の人が参加者しているようでした。華やかな中にも厳粛な雰囲気漂わせ、記念式典が行われました。大会宣言では、科学技術の発展を担い、科学技術創造立国の基盤づくりに貢献することを柱の一つとして唱えられました。

(4) 記念講演

記念講演者が日本初の宇宙飛行士であり、初代日本科学未来館 (Miraikan) の館長を務める毛利衛氏とあって、会場は更に参加者が増え、800 名前前後になっていたように見受けました。

毛利館長が演壇に登場し、最初の部分で技術士会創立 55 周年記念のお祝いを述べ、会場にいる出席者を見渡して、こう言いました。「55 年となると世代交代が必要です。世代交代の時期ですね。」(笑)。この何気ない一言は、技術士会が抱える老害を鋭く指摘したものと私は受け取りました。

講演の主な内容は次のようなものでした。

- 宇宙船は 90 分で世界を 1 周します。宇宙から見ると地球では水も空気も繋がっています。21 世紀を生き残るには国だけではなく、世界全体を考える必要があります。それが日本が生き残れる方法です。
- 宇宙から眺めるように 20 世紀は外から見ました。21 世紀は DNA、ヒトゲノムのように内からも見る時代です。人間は地球上の 5 千万種の生物の一つです。
- 宇宙ステーション (ISS) 完成は、当初の 2006 年から 2009～2010 年に計画が遅れましたが、現在は明けの明星よりも明るく夜空に見ることができます。宇宙航空研究開発機構 (<http://www.jaxa.jp>) の HP では日本上空を通る日時を知ることができます。
- 宇宙飛行士は全て技術者です。
- 地球観測にも技術が必要です。
- 日本の技術基準は ISO などより高いです。低い標準に合わせるべきではありません。

(5) 交流パーティ

会場を移して 350 名が参加しました。ソプラノ歌手による首都東京の華やかさと木場木造り保存会の古き良き江戸の情緒を楽しませてくれるステージに加え、江戸前に因んだ料理を堪能できました。



来年度大会の北陸支部 (福井) への引き継ぎ式が行われ、中山支部長をはじめとする関係役員が壇上に上がり次回の紹介と参加を呼びかけました。

4. 研修旅行

9 月 7 日からのツアーには参加しませんでした。

5. おわりに

大都会東京には多くの人や情報が集まってきますので、分科会をはじめとして充実した内容でした。一方で、地方都市での開催と違って、特色が薄い感がありました。最後に、若い技術士が増えているのに大会に参加する若手が少ないのは気がかりでした。